

■23年介護サービス施設・事業所調査結果を公表 厚労省

- ・厚生労働省は25日、「2023年介護サービス施設・事業所調査の概況」（23年10月1日時点）を公表した。それによると、介護保険施設数は、▽介護老人福祉施設／8,548施設（対前年比54施設増、0.6%増）▽介護老人保健施設／4,250施設（23施設減、0.5%減）▽介護医療院／791施設（61施設増、8.4%増）▽介護療養型医療施設／197施設（103施設減、34.3%減）となった。また、居宅サービス事業所では、訪問介護が3万6,905事業所で前年より1.3%増となり、訪問看護ステーションは前年より10.7%増の1万6,423事業所になったと報告した。
- ・従事者数は、介護老人福祉施設が29万6,882人、介護老人保健施設が12万5,091人、通所介護が22万198人（それぞれ介護職員数）、訪問介護の訪問介護員が50万872人となった。
- ・厚労省では、同調査結果を基に介護職員数の推移（2023年分）を更新した。各サービスの介護職員数を合計すると23年10月1日時点で約212.6万人となり、要介護（支援）認定者数（23年度は約705万人）が年々増加する中、前年と比べ2.8万人の減少となった。
- ・厚労省は、国として▽介護職員の処遇改善▽多様な人材の確保・育成▽離職防止・定着促進・生産性向上など、総合的な介護人材確保対策に取り組むとしている。

※詳細は下記資料をご参照ください。

○介護職員数の推移の更新（令和5年分）について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47882.html